

福島工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	グローバル研修	
科目基礎情報							
科目番号	0057		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	化学・バイオ工学科		対象学年	3			
開設期	集中		週時間数				
教科書/教材							
担当教員	石原 万里						
到達目標							
1. グローバルに関する課題、作業に関して積極的に、自発的に取り組むことができる。 2. 課題解決に必要なコミュニケーション能力を用いて、自らの意見を説明することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	到達目標の内容を実践		到達目標の内容を実践で理解している。		到達目標の内容を実践で理解していない。		
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	グローバルに関する研修に参加し、研修をととして、国際的に活躍できる能力を持つ実践的技術者、ビジネスパーソンを育成する。						
授業の進め方・方法	研修期間は休業中の本科30時間以上・専攻科45時間以上であることを原則とする。ただし、国際学会及び国際フォーラム・フェアにおけるにおける外国語での発表、その他グローバル化推進センター長が事前に承認した場合には、授業期間中における活動を認め、事前の発表準備及び学習の時間も活動時間の一部とみなすことができる。						
注意点	提出された活動記録書の活動内容及び時間数、並びに報告書の内容をグローバル化推進センター及び教務委員会で総合的に審査し、グローバル活動の総括時間が30時間以上の場合に合格とし、グローバル研修の単位として認定する。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	以下のいずれかの研修を授業項目として認める 1.JSTS, ISTS 2.国際学会及び国際フォーラム・フェアなどによる外国語による研究発表 3.語学研修 4.文化体験型海外研修 5.国際ボランティア活動 6.海外におけるインターンシップ 7.その他グローバル化推進センター長が認めたもの				
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					

		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	グローバルゼーション・異文化多文化理解	グローバルゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3	
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	3	
分野横断的能力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	工学的な課題を論理的・合理的な方法で明確化できる。	3	
				公衆の健康、安全、文化、社会、環境への影響などの多様な観点から課題解決のために配慮すべきことを認識している。	3	
				要求に適合したシステム、構成要素、工程等の設計に取り組むことができる。	3	
				課題や要求に対する設計解を提示するための一連のプロセス(課題認識・構想・設計・製作・評価など)を実践できる。	4	
				提案する設計解が要求を満たすものであるか評価しなければならないことを把握している。	4	
				経済的、環境的、社会的、倫理的、健康と安全、製造可能性、持続可能性等に配慮して解決策を提案できる。	4	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	100	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0